

- 連載** 48 学生が行く! 土木のお仕事 第9回  
「世界と戦う港湾」整備プロジェクトをひもとく!! (神奈川・横浜港)  
林 雄介 氏ほか 国土交通省関東地方整備局 港湾空港部港湾計画課
- 50 土木学会を知ろう——委員会の紹介 第9回  
土木情報学委員会  
蒔苗 耕司 宮城大学 事業構想学部デザイン情報学科 教授
- 54 Studying Abroad No.9  
オックスフォード大学留学記 —英国に学ぶ「土木の魅せ方術」—  
菅 良一 国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課
- 55 この本を薦めます 第9回  
松村 博 元大阪市都市工学情報センター
- 56 地域レポート  
北海道が進める「地方の国際協力」「地域土木行政セミナー」  
古屋 稔 NPO法人インフラマネジメントシステム (IMS) 研究機構理事
- 58 月評 7月号を読んで  
西川 和廣 佐藤 滋 加島 寛章
- 60 論説  
第74回論説(1) 将来を見通した自転車政策を  
～50年前の失敗を省みた50年後への戦略～  
元田 良孝  
第74回論説(2) オリンピック招致と東京プロブレムの克服  
屋井 鉄雄

- 小特集** 30 **被災から2年  
見えてきた問題とこれからの課題**  
—3月の連続シンポジウムを受けて—
- 32 座談会 復興の次のステージに向かって何をなすべきか  
～土木学会主催の連続シンポジウムを受けて～  
[座談会メンバー]  
小野 武彦 土木学会 第100代会長・東日本大震災フォローアップ委員会委員長  
家田 仁 土木学会副会長(東日本大震災対応担当)・東日本大震災フォローアップ委員会  
副委員長・東京大学大学院 教授  
風間 基樹 土木学会東日本大震災フォローアップ委員会副委員長・東北大学大学院 教授
- 36 土木技術を被災地での問題解決に活かすために  
—かれきの処理と有効活用を通じて—  
久田 真 東北大学大学院 工学研究科 教授
- 40 放射性汚染廃棄物・土壌への対応と展望  
勝見 武 京都大学大学院教授(地盤工学会東日本大震災対応・地盤環境研究委員会委員長)
- 44 東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会の活動  
真野 明 東北大学 災害科学国際研究所(合同調査委員会 委員長)

- 学会情報** 62 土木学会の動き  
62 理事会報告 平成24年度 第7回理事会議事録  
65 理事会報告 平成25年度 臨時理事会 議事録  
66 100周年記念事業 100周年事業実行委員会  
「一人ひとりが土木の広報パーソンになろう。」
- 68 ニュース / 69 公募情報 / 74 会員入退会 / 75 会員構成 / 77 土木学会論文目次  
78 会告情報欄 / 81 投稿のご案内 / 82 次号目次(予定) / 82 PR欄目次  
83 土木学会会員の方へお知らせ / 84 本部分事参加申込書 / 85 図書・試験器類等購入注文書

- 付録** 土木学会 平成25年度定時総会(通算第99回)報告

- 02 **Admiration of Civil Engineering Heritages by JSCE: Civil Engineering Heritage Sites Selection: First Horikawa Bridge — Stone Arch for Walkers to Pass Through**  
HAYASHI Michiko
- 04 **Feature articles:**  
The role and future of a base to Kanto block for the personal exchange, logistics and infrastructure development
- 06 Industrial changes and attracting companies to Chiba prefecture  
MARUYAMA Masaki, KONUMA Yasumi
- 08 35th Anniversary of Narita International Airport — History and Future Facility Development Plans —  
HAMA Selya
- 10 An overview of energy and the flow of people and goods and the future of Chiba prefecture  
ODAKA Kazuhiro
- 12 Past, Present and Future of Chiba Port  
KOTANI Ryuichi
- 14 Opening of the 42.9km Section of the Metropolitan Area 3rd Ring Road (Ken-oh-do) between Togane JCT and Kisarazu Higashi IC  
MISAWA Shingo
- 16 Introduction of Midorinomichi (Green Road): Tokyo Outer Ring Road (Chiba Section)  
YAMADA Tetsuya, KAWASHIMA Yoshihiro
- 18 The Ootone irrigation channel from the Tone through tunnels  
Trail of Tadataka Inou  
—Search for maps with unquenchable passion—
- 22 Civil Engineering Heritage in CHIBA Prefecture  
MATSUO Hiromichi
- 28 The town where College of Industrial Technology of Nihon University is situated  
KAWAGISHI Umekazu
- 30 **Feature articles 2:**  
After two years from the earthquake — challenges for engineers proposed during JSCE symposium on March 2013
- 32 What should be done for the next step in the restoration? — outcome of symposia —  
ONO Takehiko, IEDA Hitoshi, KAZAMA Motoki
- 36 Abilities of the civil engineering against the difficulties of communities destroyed by natural huge disasters — The treatment and further utilization of debris —  
HISADA Makoto
- 40 Management of soils and wastes contaminated with nuclides due to F1 accident  
KATSUMI Takeshi
- 44 Activities of Tohoku Branch Joint Committee on Academic Investigation of the Great East Japan Earthquake and Tsunami  
MANO Akira
- 46 **Working abroad:** Seabed-submerged Tunnel Towards Completion  
UCHIDA Keiji
- 48 **My life as Civil Engineer: Vol.9**
- 50 **Committee report**  
Committee on Civil Engineering Information Processing  
MAKANAE Koji
- 54 **Studying Abroad**  
SUGA Ryoichi
- 55 **Book review**
- 56 **JSCE Member's Report**  
"International cooperation in the region" Promoted by the Hokkaido — Seminar on Public Works Administration in Regional Government —  
FURUYA Minoru
- 58 **Reviewing July issue**
- 60 **Adviser's column**
- 62 **JSCE Updates**
- 68 **News**
- 69 **CE Careers**
- 77 **New Paper on J-STAGE**
- 78 **JSCE Calendar**
- 82 **This Issue's Contributors**
- 82 **Next Issue**

■今月の表紙

技術の手触り

西海橋 (長崎県佐世保市—西海市)

急流渦巻く長崎県の伊ノ浦(針尾)瀬戸を、支間長243.7mのブレースドリ

ブアーチで二気に跨ぐ「西海橋」が開通したのは、終戦から10年を経た1955年

30年である。この橋の完成は、経済成長や戦後復興の幕開けを告げるとも

に、わが国の長大橋梁建設の礎となった。

この橋を下から見上げると、繊細かつ透明感にあふれた印象を受ける。よく観察すると、必要最小限の鋼材で全体

が構成されていることがわかる。よほど軽量化を徹底したのであろう、各種部材

の腹板には小分けにされたプレートが用いられ、アーチリブには小判型の穴が空け

られ、それぞれの部材はリベットにより丁寧に接合されている。これほどの長大橋

梁にもかかわらず、人の手でつくられていることをリアルに感じ取ることができる。

この橋の設計を担ったのは、当時若手28歳の吉田巖を中心とする、10名にも満たない若きチームだった。彼らは基準もマニュアルもない中、手探りであらゆる限りの知恵と工夫を注ぎ込み、すべての設計

全国大会特集

## 04 関東圏への人流・物流、 インフラ整備の拠点としての 役割と今後

### 06 千葉県の人流、物流、エネルギーの全体像と未来

丸山 正樹 千葉県県土整備部 技術管理課 企画調整班長  
小沼 靖己 千葉県県土整備部 技術管理課 企画調整班 主査

### 08 成田国際空港35年の歩みと今後の施設展開計画

濱 聖哉 成田国際空港(株) 経営企画部門 経営計画部 空港計画グループ 主席

### 10 千葉県の工業の変遷と企業誘致

小高 千弘 千葉県県土整備部 技術管理課 副技監

### 12 千葉港の過去・現在・未来

小谷 竜一 千葉県県土整備部 港湾課長

### 14 首都圏中央連絡自動車道「東金JCT—木更津東IC」42・9kmが開通

三澤 伸吾 国土交通省千葉国道事務所 計画課長

### 16 「みどりの道」千葉外環

山田 哲也 国土交通省関東地方整備局首都国道事務所長  
河島 好広 東日本高速道路(株) 関東支社千葉工事事務所長

### 18 利根川の水をトンネルで導く「大利根用水」

[取材先]

石毛 建則氏 千葉県 干潟土地改良区、 欽田 智宏氏 千葉県 干潟土地改良区

[学生担当記者]

加藤 祐悟 東京理科大学大学院 大学院2年生、 太田 直希 東京理科大学大学院 大学院1年生  
山崎 達也 東京理科大学大学院 大学院1年生

### 20 伊能忠敬の歩み —冷めない情熱と地図の旅—

[取材先]

酒井 一輔氏 伊能忠敬記念館 学芸員

[学生担当記者]

阿部 悟 日本大学大学院 博士前期課程 2年、野中 伸二郎 日本大学大学院 博士前期課程 1年  
大曾根 康雄 日本大学大学院 博士前期課程 1年、小林 良介 日本大学大学院 博士前期課程 1年

### 22 千葉県の土木遺産訪ねある記

松尾 弘道 ちば河川交流会 会員

### 28 日本大学生産工学部の在るまち

川岸 梅和 日本大学生産工学部創生デザイン学科 教授 日本大学大学院生産工学研究科建築工学専攻 教授

連載

### 02 見どころ土木遺産 第110回

堀川第一橋 —石造円形アーチをくぐる楽しみ—

林 倫子 立命館大学 理工学部 都市システム工学科 助教

### 46 海の向こうの仕事から 第9回

海底下に構築されるトンネル完成に向けて

—マリナーナ高速道路MC485工区プロジェクト—

内田 桂司 五洋建設(株) シンガポール営業所 マリナーナ高速道路485工区 工事所長



いだらうか。

そのようなことを考えながらこの地を訪れると面白い。2006年に中路アーチの「新西海橋」が隣に架けられ、桁下に遊歩道が整備された。これにより隣接する公園も含めて西海橋周辺を回遊できるようになった。世代が異なる両アーチ橋をじっくり味わいながら散歩することは、技術者にとって刺激的な体験ではないだろうか。

を4ヶ月半で終えたという。その結果が、手間をかけたものだけに宿る風格を獲得しつつ、多くの人々を魅了する傑作として昇華した。

ビッグプロジェクトを若手技術者にまかして委ねるといふ体制は、戦前はうまく機能していたのかもしれないが、経済成長に伴うインフラ需要の爆発的増加には対応できなかつた。そこでは効率性が最重要課題となり、専門化、細分化、標準化、外注化という方向に力点が移っていったといえよう。